

「坑夫の像」 移設しました

石炭産業で栄える直方市のシンボルとして、昭和29年に旧国鉄直方駅前而建てられ、平成8年の駅前改修に伴い遠賀川導流堤の中の島公園に移設されていた「坑夫の像」を、国の史跡指定を受けた石炭記念館本館と救護練習所模擬坑道の隣接地であり、江戸時代以来の直方の歴史を漢文で記した「直方碑」と隣り合う場所に移設しました。像は、ヘルメットにキャップランプを付け、削岩機を構えた姿です。福智山系や市街地が見渡せる絶好の場所です。皆さんもこの地を一度訪れ、石炭によって繁栄した直方にとって大切な歴史を学んでみませんか。

